

こんな時、どうしたらいいの？



広島市立幼稚園長会 2022. 11

広島市立幼稚園では、子育てを応援するために、在園児保護者から体験談を募集しました。



子供が何かにつけて「イヤ！」と反抗し、泣いて大暴れをするイヤイヤ期。思い通りにならないとかんしゃくを起こします。何を言っても、何をしても「イヤ！」と言います。何でもかんでも自分でやりたがるけれどどうまくいらず「イヤ！」。どうしたらいいのでしょうか？

『イヤだったね』

イライラして否定的なことを言いがちですが、切り替えて「そうだね。イヤだったね。がんばったよね」といったん認めるようにしています。すると少し落ち着いて話ができるようになりました。



『日頃のスキンシップを大切に！』

日頃は、たくさん抱っこをするなど、スキンシップを忘れずに！そして、落ち着いている時に子供の話をゆっくり聞いたり、話をしたりするのもおすすめです。

『どちらにする？』

二者択一をよくやっていました。「イヤ！」となったら「じゃあ、こっちとこっち、どちらにする？」と聞いて、子供に選ばせていました。子供が『自分が選んだ』という思いを味わえるから、スムーズにいくこともありました。



『ママもクールダウンを』

子供が泣き叫ぶと自分もイライラしますが『感情のコントロールをしている』と思えば、気持ちが楽になることも多々ありました。それでもイライラした時は、安全面に配慮をしてから、トイレや別室に移動し、子供から少し距離をとるようにしました。

『一人で悩まないで』

『イヤイヤ期』の時には、たくさんの方（産婦人科医・助産師・小児科医・子育て相談の先生・幼稚園の先生等）に相談してアドバイスや知恵をもらいました。「この子は、こういう性格をもった子供だから大丈夫ですよ」と励ましの言葉をもらい、自分と子供は別の人格であり、自分はよくても子供はイヤだと感じることは普通のことだと受け入れ、イヤイヤ期はこの時期に必要な成長課題だと考えることができ乗り越えました。



—広島市乳幼児教育保育アドバイザーより—

イヤイヤ期は、自己を表出する時です。周りの大人が、止めたり感情的に怒ったりすると自己を出そうとするのを抑えてしまって逆効果です。イヤイヤ期は、永久には続きません。原因はいろいろあると思うので、押ししたり引いたりしながら探ろうとすることは大切です。「子供にあって当然」と考えて、気楽に接することができるといいですね。乗り越える経験として、大事にしていきましょう。

